

あ ゆ ち
Ayuchi
[No.100/2025.1]



「時の残しもの 一希望」 新野素子さん作

ご挨拶

伊藤行記

株式会社あいち銀行 取締役頭取
公益財団法人
あいち F G 教育文化財団 理事長



が二本柱となっています。

ご参考までに、財団発足からの累計を申し上げますと、今回までに寄せられた申請の「総件数」は、三四八六件で、そのうち「採用件数」は八四九件、「金額」は三億二千三十万円となっております。

そうした中で、これまで助成、援助を受けられまして皆さまからの活動成果や活動報告が、数多く事務局へ寄せられ、「Ayuchi」の「仲間達の近況メモ」で紹介させていただいております。こうした声に接するたびに、当財団の活動はささやかではありますが、地域のお役に立てたのではないかと、嬉しく思っております。

当財団は、教育や文化を通して人を育み、創造的で活力のある地域社会づくりを目指し、今後とも末永く活動を続けてまいります。

引き続き、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人 愛銀教育文化財団は、平成二年（一九九〇年）四月に創業八〇周年を迎えました。愛知銀行の記念事業の一環として、当地域における「教育文化の振興」を目的に設立しました。そして、本年一月一日の愛知銀行と中京銀行の合併による「あいち銀行」の誕生に伴い、財団名も「公益財団法人 あいち F G 教育文化財団」に変更いたしました。

今回、財団の機関誌「Ayuchi」が二〇〇号を迎えることができました。平成三年（一九九一年）の創刊以来、ご指導、ご協力いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

「少しでも地域のお役に立ちたい」。これが、私どもの願いでありまして、昨年一〇月には本年度で三五回目の助成金等贈呈式を行いました。

当財団が行う事業は、地域に密着した、さまざまな文化活動を支援する「一般助成」と、高校生の熱くエネルギーな文化・体育活動を応援する「援助」

愛知銀行の創業八〇周年記念事業の一環として誕生した愛銀教育文化財団。公益財団法人 あいち F G 教育文化財団と名称が新しくなったのを機に、これまでのあゆみを振り返りたいと思います。

二年間の準備期間を経て誕生

一九八八年（昭和六三年）十二月

地域の文化教育の振興を目的とした財団法人設立の案が上がり、設立準備が始まる。計一五回の準備委員会を開催。

愛知県教育委員会や愛知県高等学校体育連盟・文化連盟などを何度も訪問・面談し、申請手続きへ

一九九〇年（平成二年）三月

愛知県教育委員会より「平成二年四月二日（月）設立許可書受領」の連絡を受ける

一九九〇年（平成二年）四月

財団設立記念総会を開催。「財団法人 愛銀教育文化財団」の誕生

一九九〇年（平成二年）五月

第一回助成先の募集を始める

一九九一年（平成三年）七月

機関誌「あゆち」創刊号を発行（五〇〇〇部）

二〇〇二年（平成十四年）四月

愛知県より公益認定を受け、公益財団法人へ移行

二〇二五年（令和七年）二月

「公益財団法人 あいち F G 教育文化財団」として名称を変更

これまで二〇〇件の皆さまの活動をあゆちで紹介

●申請の総件数……三四八六件 ●採用件数……八四九件

募集数は
六件。一八件
の個人・団体に助
成。三件の高
校生に援助

表紙を飾ったのは陶芸家の亀井幸一さんの「虚と実」。助成者の活動紹介では、別所興一さん（渡辺華山の教育思想の研究）夏緑（女優）グランプが登場。



「あゆち」
一〇〇号を
発行！

気持ちも新たに、今後も地域の皆さまの文化活動、教育活動を応援していきます。

「あゆち」の名前は 愛知から!?

機関誌名の「あゆち」は、県名である「愛知」の古名「あゆち」に由来しています。

かつて、現在の名古屋市中熱田区から南区にかけて広がっていた干潟の名前が「年魚市潟」でした。万葉集にも「年魚市潟」を題材にした歌が、いくつか詠まれています。

桜田へ鶴鳴きたる 年魚市潟

潮干にけらし 鶴鳴きたる

年魚市潟 潮干にけらし 知多の浦に
朝漕ぐ舟も 沖に寄る見ゆ

助成活動を広く知って いただくために

機関誌の「あゆち」をはじめ、助成先募集ポスターやリーフレットを作成。

また、リーフレットやホームページにて活動の概要等も紹介しています。



仲間達の声

「あゆち」一〇〇号の発行を記念して、日頃の活動を報告していただいている皆さまの中から、声をいただきましたので、ご紹介します。



はせひろいち さん

第8回助成(個人)

劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表

これまでに書き下ろした戯曲は、他劇団への提供も含めると二一〇本を超えます。助成を受けた当時は、これだけの公演が案になる、備品が買える…などの喜びが、評価された名誉よりも先にあった気がします。御行が長きにわたり助成活動を続けられていることは、我々演劇界にとっては奇跡です。また、文化への思いの深さと強さの表れだと思ひ、日々頭が下がる思いです。二〇二五年は創立四〇周年として、三重・東京・大阪の新作旅公演を予定。今後も活動に邁進してまいります。



新野素子さん

第2回助成(個人)

花をモチーフとした染色芸術

もありがたかったです。現在は約三年ごとに個展を名古屋松坂屋にて、隔年でグループ展を名古屋三越にて開催しています。これからも二〇二五年のグループ展、二〇二七年の個展の開催に向け、作品づくりに励んでまいります。



平松八江子さん

第6回助成(個人)

ピアノのコンサート自主企画

地域に根差した音楽活動「ひらめのほのぼのコンサート」を一九九四年より始め、二〇二四年に第七十回記念を開催できました。多くの方のエルやサーポートのおかげで、終了後は多数のうれしい声をいただきました。毎回、出演者、お客さま、スタッフのすべての人が幸せになれる正三角形になることを願って行ってきましたが、叶えることができてうれしいです。助成後は二目置かれるようになり、活動の幅も広がりました。まずは七一回目の開催に向かいたいと思います。



第98回定期演奏家(2024年5月新城文化会館大ホール)



新城吹奏楽団

第6回助成(団体)

演奏会・コンサートを通じ地域の音楽文化の向上をめざす

団所有の譜面台がなかったときに、助成金で三〇本の譜面台を購入できました。練習ではもちろん、毎年行っている演奏会やコンサートなどで活躍しています。二〇二三年に創立五〇周年を迎え、二〇二五年五月には第一〇〇回定期演奏会を開催予定。団員以外にもOB等の協力も得て、二〇二〇回を二〇二〇人の演奏で合言葉に練習に励んでいます。



大塚奈美さん

第23回助成(個人)

トランシルヴァニア・ハンガリーの民俗舞踊の上演など

トランシルヴァニア・ハンガリーの民俗舞踊や文化を、地域のイベントなどで紹介しています。大学院での研究とハンガリー留学を終え、個人での活動を続けていくための基盤を強化したいと考えていたときに助成を受け、より一層精進しなければと、強い気持ちを抱いたものです。現在は、トランシルヴァニアの演奏家の招聘に向け準備中であり、学術研究も再開したいと思っています。「あゆち」でさまざまな分野で活躍されている助成者の皆さまの様子を知ることができ、とても励みになっています。



堀龍太郎さん

第11回助成(個人)

粘土による塑像の制作

助成を受けられた先輩の勧めで応募し、受けられたときは、喜びと先輩や師への感謝の気持ちでいっぱいでした。同時に、作品制作に対する責任感が増し、同じ美術関係者の仕事への関心が高まったことで、より制作に力が入りました。いつも「仲間達の近況メモ」に私の活動を掲載していただき、ありがとうございます。



筑前琵琶八洲流八洲会

第22回助成(団体)

筑前琵琶の伝承と普及



昭和四一年に「旭如会」として創設し、名古屋発祥の筑前琵琶「八洲流」を継承していくために、古典芸能の魅力を次世代へ伝える活動を行っています。助成は会員の士気が高まり、向上心が芽生えるの思から応募し、お稽古の糧となりました。継続は力なりを会員一同胸に、毎年定期演奏会や初びき会、宗次ホールなどでの演奏活動を行っています。このような助成は若手演奏者を支援する大きな財源となると思いますので、今後も続けていただきたいと切に願います。



名古屋テアトロ管弦楽団

第29回助成(団体)

イタリアオペラの振興と普及



り「トゥーランドット」を再演します。ぜひご覧ください。



オーケストラと合唱団の約一〇〇名の団員で、年一回のオペラ公演を中心にチャリティーコンサートなどを開催しています。助成のおかげで、「トゥーランドット」という二〇〇名以上の関係者を巻き込んだ大規模な公演を実現できました。また公演の質の向上にもつながり、感謝があります。設立一〇周年の二〇二五年は、初心に帰

愛知中世城郭研究会

第30回助成(団体)

中世城郭の研究、調査



愛知県内の城好きが集まる研究会です。会員が研究報告をする室内例会の随時開催や機関誌「愛城研報告」の発行、城館の実地調査、一般市民向けの講演会などを行っています。財政難から活動の中心である「愛城研報告」の発行が危ぶまれていたときに助成を受けられ、安定して活動を行えるようになりました。現在は日本全体で文化芸術に関する理解や援助が得られにくくなっている中、このような助成活動は重要なものです。今後も地域の文化活動の支援をお願いします。



ご協力ありがとうございました。



Marimbart

第23回助成(団体)

マリンバなどの打楽器を使った参加型演奏会の開催



芸術文化の創造、地域の音楽文化の振興、またその研究成果の発表を目的に打楽器アンサンブルの演奏活動を行っています。助成には、練習や本番で使用する会場費や運搬費など費用の補填でも使えど知り応募しました。決まったときはとてもうれしかったです。毎年開催の打楽器アンサンブルの祭典「打フェスタミチマリンバアート」は第二〇回を迎え、二〇二五年九月に開催予定です。ぜひ、お楽しみに！



Office KAN

第28回助成(団体)

演劇の普及・発展・育成

良質の演劇を安いチケット代で観ていただく



語人 サヤ佳さん

第26回助成(個人)

語り活動、新美南吉作品とともに。市民活動団体「ゆめパレット」代表

活動を始めるとは、「やるぞー」という気持ちが必要で。その気持ちで一年や二年はがんばれますが、継続するために活動資金が必要です。この助成を受けたことで活動が社会に認められ、活動資金をいただけたことは本当にありがたく、大きな励みになりました。これからもたくさんの人々に幸せを感じてもらえるような語り活動を続けていきます。



楽屋 撮影/服部義安

私が助成を受けたのは、東日本大震災の翌年でした。未曾有の災害を目の当たりにし、人の生活において演劇で何ができるのかと思い、改めて演劇活動を地道に、また真摯に取り組んでいこうと思ったのを覚えています。私は助成により矜持をもって活動できるようになりましたので、財団さんにはこれからも名古屋の多彩な文化の発展を応援していただけたらと思います。

陽気な幽霊 撮影/夏目圭一郎

あり観察だ。対話といっても言葉ではない。触れたときの感じや動きから自分が何を感じているのか、相手が何をしたいのかを感じ取ることだ。田中さんはこの対話と観察をおして相手を尊重し、協調しながら動くことを学んだ。そして、心が開かれ、体と繋がることで、体は自由に動き出す。

「踊っていると、どこかに置き忘れてきた



体が動きにくい人も目が見えない人も、さまざまなバックグラウンドを持つ人と繋がれるのがC-Iだ。その根底にあるのは平和と平等。一番大切に行っていることは、自分も他人も傷つけないこと。

「子どもからシニアまで、全世代の方と一緒に踊れる場をつくるのが夢です。さあ、みんなで踊りましょう」

言葉がほんぽん出てくるようになる。触れることで、相手との喜びや悲しみなどの感情とともに、その人がどんな人かがなんとなく伝わり、心が動かされるのだろう。そして知らない間に世の中の価値観やルールなどに縛られ、固くなつてしまった心が解放されるのかもしれない。

言葉も性別も関係ない。

CI（コンタクト・インプロヴィゼーション）というダンスがある。人と触れあい関わりながら、重力を使つて即興で動きを創りだしていく。まるで磁石が引き合うような、または水が流れるような、不思議な感覚のダンスだ。

このCIに魅了され、結成したのがCIあいち。田中三奈代さん、高木理恵さんを中心に、現在六名のメンバーがいる。

ワクワクや遊び心が思いだされて、とてもおもしろいです」

この魅力をもっと多くの人たちに知ってもらいたい。そんな思いからラボ&ジャムをはじめ、赤ちゃんを持つ親子、子ども、シニアなダンスに関係のない人たちを対象にワークショップなども開催。実際に体験した人たちは、体験前に比べて表情もやわらかくなり、

「教えてもらうことは、シンプルでわかりやすいです。理解はできるんですけど、実際に切ってみるとできないですね」

親方と呼ばれるほどのベテランになると、木を見ただけで、どこをどのように切ったらいいのか、直感的にわかるという。

「二〇年先を見据えて、瞬時に切る枝、残す枝を見極めていく様子に、熟練の技術を実



日本庭園の継承において、庭師は欠かせない存在だ。そしてもう一つ、人々の関心が重要だと細谷さんという。庭園に訪れたい、造ってみたいという人々がいてこそ継承していきけるものだと考えているからだ。書き上げた論文をとおして庭師の魅力を伝えることで、〝日本庭園〟というものに意識を向けるきっかけになってほしいと願っている。

育つ」という感覚がなかなか掴めない。それこそ、経験の積み重ねによつて得られるものなのかもしれない。

「習得に時間のかかる技能、一つひとつを現場で積み重ね、腹で理解している職人さんは、ものすごく魅力的ですね」

目の当たりにした技術を研究で明かし、言語化することの難しさを痛感する。

「日本庭園がすごいなら、庭師もすごいでしょう」

この想いを伝えたくて、『庭師の継承支援に関する研究』に打ち込んでいる細谷耕平さん。現在、名古屋大学大学院の二年生だ。

日本庭園に関する研究は、二〇〇年を超える蓄積がある。その大半は文書や遺物を扱う歴史的・考古学的研究などであり、現場

「感じます」

作業は枝が伸びれば切つて、元の形に戻すという繰り返しになるが、庭としては育つていくという。《時間芸術》といわれる庭の中で、景色は変わらなくても時間はしつかり流れているからだ。その時間をコントロールしているのが、庭師であると細谷さんは考える。

だが、話を聞き作業を観察しても、《庭が



メンバーの
高木さん

代表の
田中さん

**心が自然に動き出す！
触れて繋がって、重力で踊るCI。**

コンタクト・インプロヴィゼーションを軸とするダンス
CI あいち
第35回助成(団体)

2015年より活動をスタート。現在のメンバーは、男性2人・女性4人。コンタクト・インプロヴィゼーションは、モダンダンサーであるスティーヴ・パクストンが合気道からアイデアを得て考案。月2回のラブ&ジャムをはじめ、海外のダンサーなど外部講師を招いてのワークショップ、パフォーマンス公演などを開催。2025年に講師を招いたラブ合気道を新域にて開催予定。 [ホームページはこちら▶](#)



**庭師の技術で継承。
時間芸術といわれる日本庭園。**

庭師の継承支援に関する研究
細谷耕平さん
第35回助成(個人)

名古屋大学大学院人文科学研究科 文化人類学専攻、博士前期課程2年生。大学卒業時の卒業論文では「科学的知識の形成とその背景—天気予報における数値予報を事例として—」をテーマに、自然科学の知識が学識的にとどのように作られているかを研究。今回の研究では、経験で積み上げることで身に付けていく技術や知識について、自然科学の知識と比較しながら追求している。



2024年 8月

- **神村泰代さん（アート作品作成）** 第31回助成・個人
港まちアートブックフェア2024〔Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F Exhibition Space（名古屋市港区）〕

2024年 9月

- **中谷ゆうこさん（美術制作）** 第25回助成・個人
「そのぬくもり」中谷ゆうこ展〔GALLERY Laura（日進市）〕
- **プランタン管弦楽団** 第33回助成・団体
第22回定期演奏会〔愛知県芸術劇場（名古屋市東区）〕
- **合唱団 CORMI** 第34回助成・団体
第5回演奏会〔東海市芸術劇場大ホール（東海市）〕

2024年 10月

- **空1301（総合芸術）** 第30回助成・団体
智恵子抄「田園交響楽」より〔HITOMI ホール（名古屋市中区）〕
- **愛知室内オーケストラ** 第15回助成・団体
第80回定期演奏会 指揮：山下一史〔愛知県芸術劇場コンサートホール（名古屋市東区）〕
- **深澤伸友さん（戯曲の翻訳・演出など）** 第32回助成・個人
リーディングシアター らっ・だいと「夢見る女の一、もしくは…」台本・演出〔レンタルスペース my color（名古屋市中千種区）〕
- **平松八江子さん（ピアノコンサート自主企画）** 第6回助成・個人
第6回みんなとみなとコーラスコンサート〔港文化小劇場（名古屋市港区）〕
- **神村泰代さん（アート作品作成）** 第31回助成・個人
「とよまちなか芸術祭2024」〔①旧豊田市近代の産業とくらし発見館②喜多町喜多流③見沼公園④名鉄トヨタホテル パブリックスペース（豊田市）〕
- **なごや芝居の広場公演「楽屋～流れ去るものはやがてなつかしき～」** 〔千種文化小劇場（名古屋市中千種区）〕

- **なごや芝居の広場** 第34回助成・団体
堀 優子さん（演劇）第23回助成・個人

- **古井戸芳生さん（現代美術）** 第12回助成・個人
古井戸芳生展〔兜屋画廊（東京都）〕
- **劇団シンデレラ** 第9回助成・団体
一宮エコフェス公演「イタセンバラパラダイス」〔エコハウス138（一宮市）〕
- **語人 サヤ佳さん（語り活動）** 第26回助成・個人
月に一回だけ開催する のんびり広場「寄っつい DAY」〔とよた市民活動センター・ホール（豊田市）〕

2024年 11月

- **平松八江子さん（ピアノコンサート自主企画）** 第6回助成・個人
第70回記念 ひらめのほのぼのコンサート〔港文化小劇場（名古屋市港区）〕
おしゃべりピアノとひらめの心の唄～秋色の調べ、和のこころ～〔白鳥庭園芝生広場（名古屋中熱田区）〕
- **神村泰代さん（アート作品作成）** 第31回助成・個人
2024町を紡ぐ景色を織る 空を縫る 地を縫る 長者町錦コトプロジェクト（長者町コトンビル（名古屋市中区））
長者町錦コトプロジェクト2024「町を紡ぐ 景色を織る 空を縫る 地を縫る」〔長者町コトンビル GROUND（名古屋市中区）〕
- **Office KAN（演劇）** 第28回助成・団体
小澤寛 芸歴50周年 Office KAN 創立10周年 記念公演〔昭和文小劇場（名古屋市中区）〕
- **プロジェクト SANFA（舞台制作）** 第32回助成・団体
大アマチン企画・西文化小劇場開館30周年事業「秋のち音」〔西文化小劇場（名古屋市中区）〕
- **奥三河音楽連盟** 第8回助成・団体
第49回新城音楽祭〔新城文化会館大ホール（新城市）〕
- **愛知室内オーケストラ** 第15回助成・団体
横山幸雄×ACO 特別演奏会〔愛知県芸術劇場コンサートホール（名古屋市東区）〕
第81回定期演奏会〔東海市芸術劇場大ホール（東海市）〕
国際ナショナル・ウィンド・サミット2024「グラン・パルティータ」〔紀尾井ホール（東京都）〕
愛知県芸術劇場（名古屋市中区）・豊田市文化芸術センター（豊田市）
ユナイテッド・ユーロプラス・クインテット〔豊田市コンサートホール（豊田市）〕
- **語人 サヤ佳さん（語り活動）** 第26回助成・個人
ゆうゆうテラレーション2024「霜月の語り」〔西志津ふれあいセンター（千葉県）〕
月に一回だけ開催する のんびり広場「寄っつい DAY」〔とよた市民活動センター・ホール（豊田市）〕
- **松本幹永さん（立体造形）** 第6回助成・個人
松本幹永展「虚実ノ皮膜～ひらいて むすんで～」〔Galleria Finarte（名古屋市中区）〕
- **堀 優子さん（演劇）** 第23回助成・個人
蝶々夫人&ガラ ～朗読で綴る～〔HITOMI ホール（名古屋市中区）〕

仲間達の近況メモ

2024年 12月

- **ローゼ・ブロックフレーテ・コンサート（リコーダー合奏）** 第14回助成・団体
第5回コンサート〔ザコンサートホール名古屋・伏見・電気文化会館（名古屋市中区）〕
- **英語珠算研究会** 第32回助成・団体
2024年英語珠算競技大会（大原簿記情報医療専門学校名古屋校（名古屋市中村区））
- **語人 サヤ佳さん（語り活動）** 第26回助成・個人
月に一回だけ開催する のんびり広場「寄っつい DAY」〔とよた市民活動センター・ホール（豊田市）〕
- **総合劇団俳優優館** 第26回助成・団体
桜の園〔愛知県芸術劇場（名古屋市中区）〕
- **新城吹奏楽団** 第6回助成・団体
第99回定期演奏会〔新城文化会館大ホール（新城市）〕
- **STRINGS（演劇）** 第32回助成・団体
STRINGS ☆第10回公演「事情」〔昭和文小劇場（名古屋市中区）〕
- **愛知室内オーケストラ** 第15回助成・団体
特別演奏会2024〔愛知県芸術劇場（名古屋市中区）〕
- **合唱団 CORMI** 第34回助成・団体
春日井芸術未来への創造プロジェクト②「愛の妙案」〔春日井市東部市民センターホール（春日井市）〕
- **久嶋江里子さん（バレエ）** 第3回助成・個人
くるみ割り人形（主催：越智インターナショナルバレエ）〔日本特殊陶業市民会館フォレストホール（名古屋市中区）〕
- **西村一成さん（絵画制作）** 第20回助成・個人
伊勢朋友監督 西村一成ドキュメンタリー映画「かいじゅう」京都・出町座上映記念特別展（ギャラリー宮脇（京都府））
- **大橋敏彦さん（金工）** 第3回助成・個人
第54回あかね会工芸展（主催：あかね会工芸美術協会）〔愛知県美術館ギャラリー（名古屋市中区）〕
- **一般社団法人 ワンダーハート（アートクラブ）** 第35回助成・団体
クリスマスの魔法 アール・ブルックの世界〔文化のみち撞木館（名古屋市中区）〕

書籍・会報誌等の発行

- **神村泰代さん** 第31回助成・個人
8・9月…「ねこのパンやさん」出版
- **はんだ郷土史研究会** 第19回助成・団体
9・11月…「はんだ郷土史だより」第116・117号発行
- **岡崎地方史研究会** 第34回助成・団体
9月…「岡崎地方史研究会便り」No.62発行
- **まつり同好会** 第25回助成・団体
9・12月…「まつり通信」633・634号発行
- **長久手市郷土史研究会** 第13回助成・団体
9月…「胡牀石」第64号発行
- **野田史料館** 第1回助成・団体
9月…「野田史料館報」第170号発行
- **江南郷土史研究会** 第3回助成・団体
10～12月…「江南郷土史研究会会報」548～550号発行
- **名古屋郷土文化会** 第7回助成・団体
10月…「郷土文化」第79巻第1号発行
- **小牧市文芸協会** 第2回助成・団体
10～12月…郷土文芸誌「駒来」第633～635号発行
- **ため池の自然研究会** 第26回助成・団体
12月…「ため池の自然」No.65発行

※ここには事務局に入った連絡分をまとめて掲載しました。連絡状況によって、掲載のタイミングがずれる場合があります。ご了承ください。今後も皆さんの活動状況をお知らせいただければ幸いです。

表・紙・作・品



「時の残しもの 一希望」
縦163×横138cm 技法：型染 生地：木綿 モチーフ：アネモネ
新野素子さん作（第2回助成）

● 作者の言葉

大切な友とのさまざまな思い出に出逢いたくて、いくつもの過去への扉をくぐり抜けた。その先には、何か希望のようなものがあってほしいと強く願って……。さまざまな場面をアネモネの花が語ってくれるようにと、制作しました。

副部長の
岩坂さん校長の
梶浦先生顧問の
山本先生

も、リレーになると信じられない記録を出す。

練習風景から山本先生と部員たちの絆の強さを感じている校長の梶浦伸祐先生。

「練習は本心に厳しです。その厳しさがあるからこそ、試合で実力以上の力が発揮できるのだと思います」と教えてくれた。

例えばリレー。個人では結果が出せなくても、リレーになると信じられない記録を出す。

陸上競技は自分への挑戦だという顧問の山本雅司先生。部員たちにアドバイスをしたり、あえて距離をとったりを繰り返しながら、自ら考え、動けるように指導している。

「例えば、腹筋が一〇回しかできなかったのが十一回できたら、限界を超えたことになり。『がんばれば、できるんだ！』という経験値を多く与えたいですね」



「応援してもらえると、すごく力になります。だから応援も全力でします！」

試合に出場する選手のために、応援動画を撮ったり、会場でも元氣よく応援するなど、部員全員が丸となって試合に臨んでいることを教えてくれた。

山本先生の教えは、しっかり部員たちに届いていた。

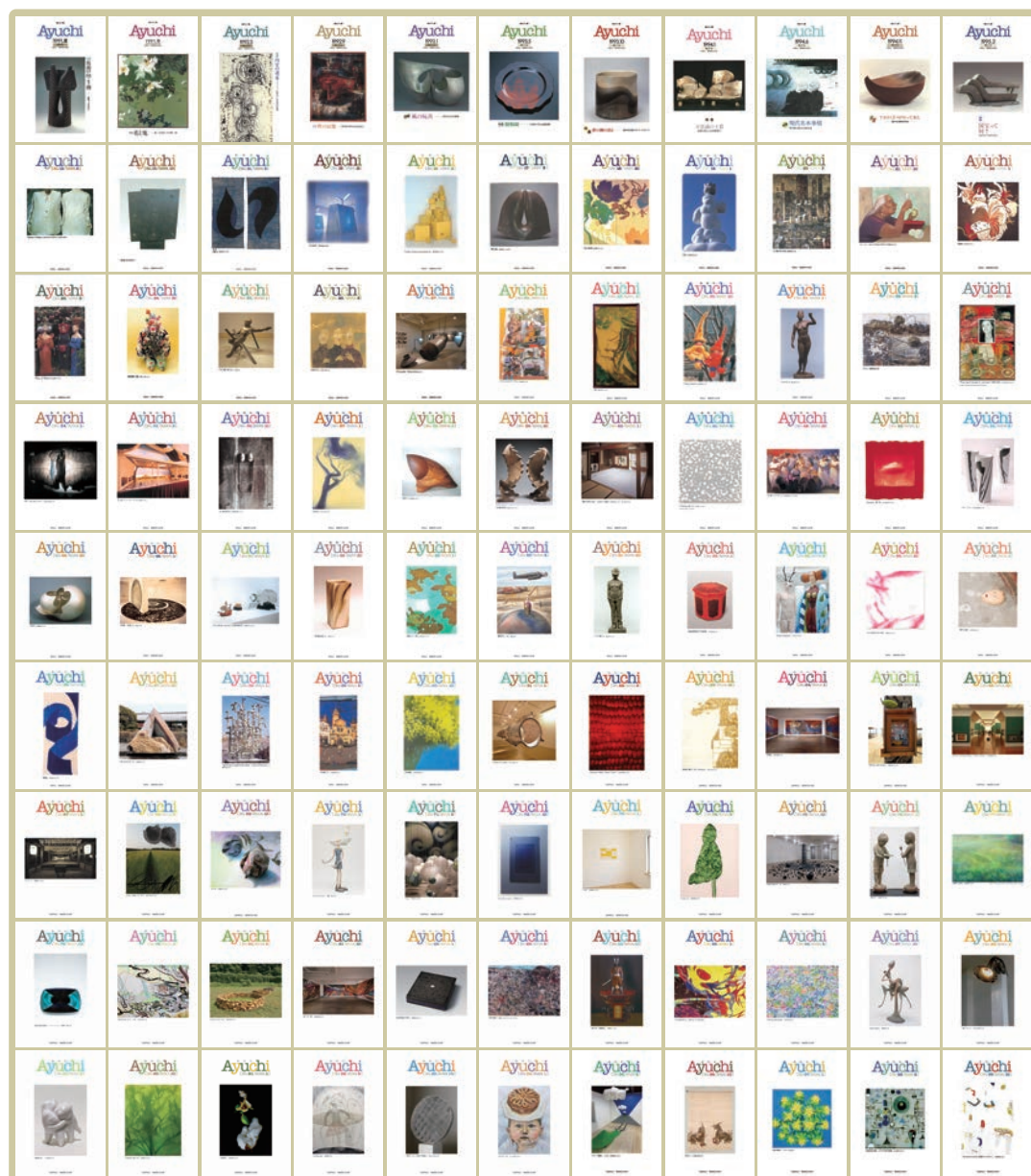
やり投げの選手である岩坂さんは、「二〇二四年東海高校新人大会で大会新記録を出して優勝し、ほかにも一五名の選手がさまざまな競技で入賞。二〇二五年のインターハイで、大谷旋風が巻き起こることに期待したい。」

練習に笑顔はいらない。
がんばって結果が出たときに笑おう！陸上競技部
名古屋大谷高等学校
第35回援助（高校生）

3年生が引退した現在、部員数は42名。山本先生をはじめ4名の顧問と外部指導員の1名で指導。2024年のインターハイにおいて、男子4×400mリレー、男子3000m障害、男子ハンマー投げ、男子やり投げの競技にて選手が出場。44年連続でインターハイへの出場を続け、各競技で活躍。部員たちは先輩から教わった挨拶やマナーを守ることの大切さを胸に、それぞれの目標に向けて毎日練習に励んでいる。

創刊号から99号まで「あゆち」の表紙

※一番左上から右へ、創刊号(1991年7月発行)から順に並んでいます。



あゆち第100号 ● 2025年1月

発行:公益財団法人 あいちFG教育文化財団
〒460-8678 名古屋市中区栄三丁目14番12号
あいち銀行本店内 ☎(052) 251-3211(代)

<https://www.aichibank.co.jp/company/csr/foundation/>

